



さかわようちえんだより～12月号～

さ:最後までがんばる子 か:感じる心をもった子
わ:わくわくしながらチャレンジする子



令和3年11月26日
小田原市立酒匂幼稚園
園長 向笠 弘子

いつまでも暑いなと思っていたら、あっという間に秋が深まり、冬の足音が聞こえてきそうな寒さを感じるようになりました。冷え込んだ日は北園庭ががらんとして、南園庭がにぎわっています。子どもたちは寒さを感じ、暖かい場所に気付き暖かさを感じながら遊んでいるようです。誰が教えたのでもないのに、自分の感覚で感じ取り行動する子どもの力。子どもに備わっている力を伸ばすことの大切さを感じ、充実した園生活になるようにしていきたいと思った場面でした。残り少ない第2学期、ご理解ご協力をよろしくお願ひします。

学級懇談会の話し合いから

先日は、お忙しい中学級懇談会にご出席いただきありがとうございました。ほし組の懇談会で次のような話が出ていたそうです。

「絵の上達が大きい」

「年少の時のアンケートで絵が上達していないと書いてしまったが、興味が向かった時に伸びていくことが分かった。」

感じたこと、経験したこと、自分のイメージを伝えたいという思いが高まって表現となり、さらにそれをもっと自分のイメージに近づけようとして表現力がついてきます。この過程に学びがあります。必要感を感じ子どもが学んでいくことが大切なのです。これからも、保護者の皆さんと子どもの育ちを真ん中において語り合い、より良い教育活動になるように力を合わせていくことができたらと思います。温かいご理解とご協力、よろしくお願ひいたします。

初めてのサッカー教室から

さくら組さんの初めてのサッカー教室がありました。しっぽ取りから始まり、準備運動をしました。その後、ボールを使って、相手チームのゴールにどちらが多くのボールを入れられるか競いました。どうしても負けたくないでゴール前を離れられない子、果敢に相手チームのゴールを目指して攻めていく子、終了の合図がなっても気付かず夢中になってゴールに向かってボールを蹴っている子、大勢の友達がいる中に入るのが怖い子など、様々な姿が見られました。でも、コーチもボランティアの方も先生たちも温かい眼差しで、それを見守っていました。サッカー教室が終わった後、再びサッカーを始めたさくら組さん。延長保育の時間も、そして、今でもサッカーが続いています。自分たちでルールを教え合って進めていくようになっていくのが楽しみです。その芽を見逃さず、育てていきたいと思います。

さくら組12月のおだわらっ子の約束
優しい心でみんなと仲良くします

ほし組12月のおだわらっ子の約束
人に迷惑をかけません